教育長コラム

年中夢求

ねんじゅうむきゅう

夢の実現のため、24時間、体や心を磨き、「生きる力」を育む。

宇城市 教育長 平岡和徳

学校・家庭・地域で子どもの「夢」を支える

子どもの24時間をデザインする力を育成する上でのポイントは、「夢」の存在です。目指すゴール（夢）のない者に、進む道はありません。夢があるからこそ進むべき道を見いだし、自分の夢だからこそ夢中になって取り組みます。

そこで、本市では子どもができるだけ多くの「本物」に触れられるよう、国際大会の誘致、著名人の講演やコンサートの開催などに力を入れています。「本物」が放つオーラは子どもを引き付け、「あの人のようになりたい」という憧れを抱かせ、夢の実現につながっていきます。

そして、子どもが自ら夢に向かって進むために環境を整え、可能性の幅を広げる支援をすることこそ、教育の役割だと考えます。

ただ、それは家庭だけで補えるものではありません。学校や地域が一緒になって協働の質を向上させていくことが必要です。

市では、２０１７年度から全中学校区に小中一貫教育を導入し、学校が主体的に学校運営協議会を設置する「熊本版コミュニティ・スクール」の制度を一体的に進めています。

各小・中学校に小中一貫教育コーディネーターを配置し、小学校・中学校・地域・保護者が目標を共有し、協力して教育を推進する体制を整えています。本市には、地域との会合を50年以上続けている小学校もあり、地域と学校が連携する風土が根付いています。

本制度を機に、子どもたちの未来に向け、地域の特色に応じた「開かれた学校づくり」をより推進させていきます。

※『教育時報』令和元年12月号より編集

市長コラム

不撓不屈

ふとうふくつ

困難にあってもひるまず、くじけないこと。

私たちができること

8月2日、市内で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されました。

感染が急速に拡大する中、県はリスクレベルを最高の「レベル4特別警報」に引き上げました。これまで以上に危機感を持ち、市民一丸となって感染拡大防止策を強化する必要があります。

同時に、感染者やそのご家族、職場などへの不当な扱いや嫌がらせ、誹謗（ひぼう）・中傷は許されることではありません。不確かな情報に惑わされることなく、お互いを尊重し、県や市が発表する正確な情報に基づく冷静な行動と、感染拡大防止へのご協力をお願いします。

他方、令和2年7月豪雨により甚大な被害を受けた県南地域。仮設住宅の整備に全力を挙げて取り組まれていますが、完成まで相応の時間を要します。そこで市では、球磨村の被災者に小川仮設団地を避難所として提供しています。

また、復旧活動にも多くの人手が必要なことから、8月の土日にボランティアバスを運行しました。合計8回の運行で、延べ130人を超える人々が人吉市で復旧活動に従事されました。その中には、高校生ボランティアも多数参加していただいています。

また、バスを使わずとも多くの人が自身で現地へ出向いて活動をされていると伺っています。

今こそ、私たちは高潮災害、そして熊本地震の際に頂いた恩をお返しする時だと感じています。

未曽有の災害に対し、県全体が善意の輪で一体となっているこの時、それぞれが「できる時にできること」を行い、ウキカラ県南へ笑顔を届けましょう。

宇城市長 守田憲史

ご意見ご感想はこちらの入力フォームから

ウキカラ読者の声

ウキカラ読者の感想や皆さんのご意見を紹介するコーナーです。今月は、8月号の感想と4月採用の市役所職員を紹介します。

特集で、自分が住む場所の水道水に地下水が使われていることを初めて知りました。以前、松橋町に住んでいたときとは明らかに水質や味が違うと感じていたので、そうだったのか！と驚き、納得しました。松橋では、なんと遠路はるばる球磨川の水をいただいていたとは。いつでも綺麗（きれい）でおいしい水が飲めるのも、たくさんの方々のおかげなんだと改めて実感し、感謝して使わなくてはいけないな、と思いました。（ヒロコ 50代女性・不知火町）

◆

8月号は、全体的にとてもよく編集されていたと感じました。特に表紙の絶妙な色合いから想像が膨らむ夏休み特集、水道水の秘密のこと、誰もがあって当たり前と思いがちな水道水、私たちの生活になくてはならない大切な飲料水、原点に返り飲料水の大切さを認識するための啓蒙（けいもう）につながる段階的な記事の流れ、子どもたちにも退屈させない特集内容でとても分かりやすかったです。結びに水の大切さをテーマにまとめてあり、とても好感もてる特集でした。「水は地球の宝物であり、地球からの贈り物です。」みんなでもっと水の大切な使い方を学習したいものです。（F15マーベリック 60代男性・不知火町）

◆

毎回、気付かされる事が多く、宇城に住んで良かったと感じています。これからも、暑さに負けず三密に気をつけて、楽しい学べる「ウキカラ」楽しみにしてます。（A子バア 60代女性・松橋町）

貴重なご意見ありがとうございます。今月の感想もお待ちしています。

公共施設マネジメント課
河内（かわち） 恵理奈（えりな）

防災拠点センターの特集を見て、安全で安心できる街づくりが進んでいるなと感じました。

農政課
長（ちょう） 隆昭（たかあき）

「宇輝人」のコーナーが特に好きで、毎月読むのを楽しみにしています。

募集

みなさんからのお便り、各コーナーの情報をお待ちしています

広報紙の締切

11月号 **9月30日㈬**
12月号 **10月28日㈬** 必着

住所、氏名、電話番号、掲載希望号、コメントなどを記入の上、メール、FAX、郵送してください。詳しくはお尋ねください。

〒869−0592（住所不要）
宇城市 企画課 広報係
☎(32)1111 FAX(32)2222
✉koho@city.uki.kumamoto.jp

編集局から

▽今年の8月はお祭りや花火のない、いつもと違った夏でしたね。広報紙を作りながら少しさびしい気持ちもありましたが、宇城市でも新型コロナウイルスの感染者が8月24日時点で13人になりました。まだまだ市民一丸となり感染予防を心掛けましょう。（ろん）